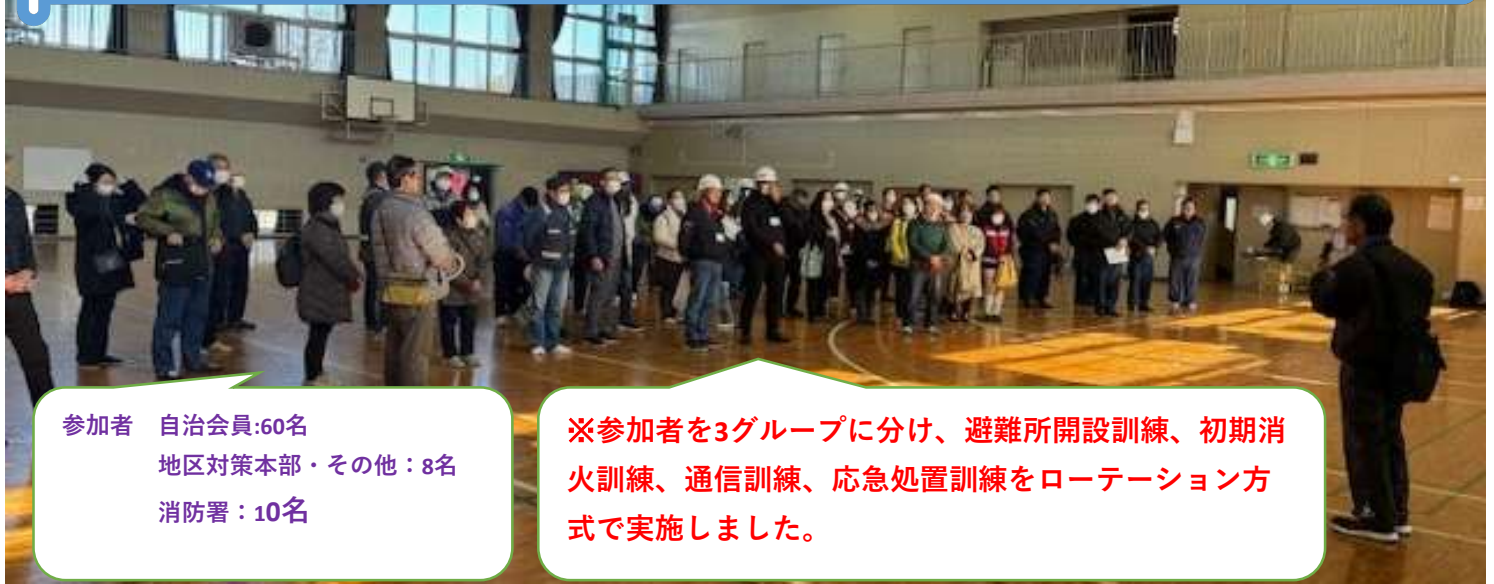


令和6年度 中村自治会 自主防災訓練



参加者 自治会員:60名
地区対策本部・その他:8名
消防署:10名

※参加者を3グループに分け、避難所開設訓練、初期消火訓練、通信訓練、応急処置訓練をローテーション方式で実施しました。

令和7年2月23日（日）9時00分から11時30分まで、綾瀬中学校で中村自治会自主防災訓練が開催されました。今回は、中央地区対策本部・消防署の支援を受け「総合防災訓練」及び「中村自主防災訓練」を融合した内容で開催されました。



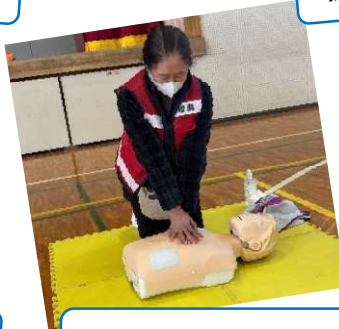
テント設営訓練を行いました。



初期消火訓練で無事に火が消えました。



MCA無線で通信訓練を行いました。



応急処置（心肺蘇生法）を体験しました。



避難所開設訓練



防災倉庫について説明を受けました。



令和4年度綾瀬市総合防災訓練 ― 中村自治会

＜ 9月4日(日) 午前8時30分～11時30分 @綾瀬中学校 ＞

今年度は、コロナ禍で参加人数を縮小し、自治会員53名が参加して実施されました。



当日の以下の訓練を行いました。

1. 参加者を5グループに分け、ファーストミッションボックスの指示カードに従い、防災倉庫の物品確認や施設の安全確認、電気操作盤の確認等を行う。



- 各グループはほぼスムーズに指示カードに書かれたミッションを実行していましたが、中には指示カードに書かれた体育館の設備配置図が間違っているなどの不備が発見され、市の担当者に修正を依頼するケースもありました。
- ここで出された意見は、ファーストミッションボックスの改善に繋がります。

2. 4～5名のグループで、簡易型テント及び折畳式ベッドを組立て、後に撤収する。



- 綾瀬中体育館には105張の簡易型テント、35台の折畳式ベッドが備蓄されています。
- 初めての人でも説明書を見ながら10分以内での設営が出来ました。
- 簡易型テントは家族やグループ毎で避難所でのプライバシーを守るには非常に有効だと感じました。
- 折畳式ベッドは、思ったよりは頑丈で幅も広く、快適に使えるものでした。

3. 屋外でマンホールトイレを設営し、後に撤収する。



最初に市の担当者から説明を受けました。



障がい者用トイレを組立てています。

- 参加者全員がマンホールトイレの設置は初めてで、且つ市の担当者からは細かな設置方法の説明は無く、皆で試行錯誤での作業となり、時間がかかりました。
- マンホールトイレは一般用と障がい者用があり、それぞれ1基ずつ組み立てました。
- どのマンホールを使うかも初めてでは分かり辛いと感じました。
- マンホールの中の汚物の流し方も特別な操作が必要で、操作の説明パネルが必要であるとの意見も出ました。



古塩市長も視察に来ました。



設置後のQ&A、説明



完成後、座り心地をチェック！